

| 一般社団法人海部津島青年会議所 2026 年度 基本方針 | |
|------------------------------|---|
| 総務委員会 委員長 村上 瑛一 | |
| 委員会の 基本方針 | ・円滑な LOM 運営の整備 ・地域の継続事業を着実に遂行 |
| 委員会の 設置背景 | 当 LOM では、議案提出や配信の遅延などの諸問題に加え、涉外業務が適切に機能していないなど組織運営全般に問題が生じており、議論の質の低下や活動効率の悪化を招いています。原因として、議案の理解不足や LOM の慣習への知識不足があげられます。そこで、会議運営や涉外対応を学び組織運営を正常化する必要があります。 |
| 委員会の 設置目的 | 会議運営や涉外対応を適切に行い、LOM 運営に必要な機能を整えることを目的とします。また、地域に根差した継続事業である「わんぱく相撲」を担当し、着実に遂行し地域からの信頼を高めていくことを目的とします。 |
| 委員会 概要 | 1. 総会をはじめとする諸会議の設営及び円滑な運営 総会、理事会などの会議で、LOM メンバー、理事会構成メンバーが活発な議論を行えるよう的確な設営をし、次第や議案書の準備、上程スケジュールの遵守、不備がないか、配信ミスがないかなどの事前確認、議事進行を行います。 ◆パートナー 1) なし |
| | 2. 議案書の管理並びに議事録の作成・保管 一般社団法人として法律で義務付けられている事項【一般社団・財団法人法第 57 条(総会)、第 97 条(理事会)】に則り、会議で出た意見を要約した議事録を作成し、議案書と合わせて 10 年間紙媒体での保管・管理を行います。 |
| | ◆パートナー 1) なし |
| | 3. 基本資料の作成 2026 年度の LOM 運営の根幹となる基本資料(定款第 54 条に記載されている資料)を作成します。また、諸規定などを最新の情報にし、情報公開します。 |
| | ◆パートナー 1) なし |
| | 4. 名古屋会議(2 月例会) 青年会議所には LOM で得られる機会の提供だけでなく、出向によって得られる機会の提供もあります。メンバーが出向について知見を深めることを目的とします。 |
| | ◆パートナー 1) なし |

| | |
|-----------|--|
| 委員会 概要 | 5. わんぱく相撲海部津島場所(5月例会) |
| | 地域から強く必要とされている事業を開催することで、地域の信頼に応えます。 |
| | ◆パートナー |
| | 1) 愛知県相撲連盟 |
| | 2) 学生ボランティア |
| | 6. 西尾張 6JC 合同例会 |
| | 西尾張 5 青年会議所と合同開催することで、エリア内の絆を深め、次年度理事長が初めて行う対外的なスピーチを聞くことを目的とします。他 LOM の取組みや姿勢からメンバーの視野が広がり学びを得ることで、自身の運動への気づきと新たな発想を育みます。 |
| | ◆パートナー |
| | 1) なし |
| | 7. 卒業生を送る会(12月例会) |
| | 2026 年度で卒業されるメンバーをお祝いします。また、卒業生のように積極的な活動をしてもらえるようモチベーションを上げていただきます。 |
| | ◆パートナー |
| | 1) なし |
| | 8. JC ニュースの編集・発行 |
| | LOM の運動を地域の方々、会社・団体へ発信し、地域社会に我々の活動を知ってもらうことを目的とします。 |
| | ◆パートナー |
| | 1) なし |
| | 9. LOM ホームページ・SNS 運営 |
| | LOM の運動を迅速に発信し、地域社会に我々の活動を知ってもらうことを目的とします。必要な情報を得られるよう容易にアクセスできる状態を作ります。 |
| | ◆パートナー |
| | 1) なし |